



たきばな

一般社団法人
日本ボーイスカウト
静岡県連盟
〒420-0068
静岡市葵区田町1丁目70-1
(静岡県青少年会館内)



第3回 東海4県連盟合同野営大会 8月2日(金)~7日(水)高山市位山交流広場にて



静岡第14団いかた作り



アマチュア無線免許取得



浜松第30団静岡県徒歩横断プロジェクト

CONTENTS

第3回 東海4県連盟合同野営大会 高山から発信! スカウトの絆(きずな)	2	ビーバーだより・カブつうしん	12
第3回 東海4県連盟合同野営大会に参加して	4	ボーイ通信	13
第13回 日本アグーナリー開催	6	指導者だより	13
第1回 伊豆地区キャンポリー2024	7	受章者紹介	14
静岡県徒歩横断プロジェクトに参加して	8	「友情章」おめでとう33名の仲間	14
静岡地区いかだパイオニアリング	10	アマチュア無線免許取得しました	15
「スペースキャンプ」に参加しました	11	マスコミコーナー	15
		お知らせコーナー	16

第3回 東海4県連盟合同野営大会

～高山から発信!スカウトの絆～

令和6年8月2日(金)～7日(水)

高山で生まれた 「スカウトの絆」を広げよう

県コミッショナー 澤田 浩久

8月2日から7日にかけて、岐阜県高山市の位山交流広場にて「高山から発信!スカウトの絆」をテーマに、第3回東海4県連盟合同野営大会(略称:3TC)が開催され、静岡県連盟からは71人のベンチャースカウトと、奉仕として49人のローバースカウト及び指導者、そして友好交流の覚書を結んでいる台中童軍会からも20人のスカウトと2人の指導者が参加しました。当初、3TCは令和2年に開催予定でしたが、コロナ禍による延期で4年越しの開催となりました。この間、他の野営大会等も中止が相次ぎ、大会参加の機会に恵まれなかったスカウトが多くいたことから、今回はベンチャースカウトを対象とした、装いも新たな大会となりました。参加スカウトは、会場への移動手段の検討を含め、大会から示された様々なプログラムを組み合わせ、自分たちでプロジェクトを計画し大会に臨みました。大変なこともあったとは思



ますが、これを機にベンチャープロジェクトへの理解が深まり、大きく成長できたことと思います。閉会式でのみなさんの笑顔や盛り上がりを見て、スカウトの絆を改めて感じました。3TCで培われたベンチャースカウトの絆が、東海4県から全国に広がっていくことを期待しています。

最後になりましたが、奉仕いただいた多くの指導者の皆様のご尽力により、スカウトの笑顔があふれる素晴らしい大会になりましたこと、感謝申し上げます。ありがとうございました。



静岡1隊 隊長 久原 宗仁

複数のスカウトから、「意外と厳しくなかった隊長」と評価された久原です。

さて、この3TCを、グループワークという観点からふりかえると、パディ(トリオ)、参加隊、プログラムによるチーム等、場面に応じた編成が行われたことで、普段のスカウティングでは体験できない貴重な機会となったと考えます。

次に、スキルについては、「キャンプ生活の工夫」や、「計画や評価の手法」等、この大会を通じて、彼らなりに自らの課題に気付いたことと信じています。

最後に、参加スカウトの皆さん、閉会式で芽生えた熱い気持ちを忘れずに、これからもベンチャーリングに励んでください。願わくばこの隊から富士章が誕生することを願っています。



静岡3隊 隊長 奈木真由美

大雨に打たれてもさすがベンチャースカウト! その時その時を楽しんで過ごしていました。3TCを通じて、かけがえない経験ができたと思います。その経験をこれからの人生に活かして欲しいと思います。



静岡2隊 隊長 金子 智一

3TCに参加してベンチャースカウトって素晴らしいなって再認識しました。それは私たち静岡2隊は当日初顔合わせで地区もバラバラ、接点のないスカウトばかりでした。しかし指導者が仕切るのではなく自然とスカウトの中で自治ができ隊の運営ができたことでした。ベンチャースカウトって素晴らしいな!



交流と言葉の壁

伊豆地区 三島第5団ベンチャー隊 **石見 優縁**

第3回ボーイスカウト東海四県連盟合同野営大会に参加するにあたり、今までで一番「言葉と文化の壁」を感じました。私の団の指導者がホストファミリーを受ける形となり、出発前から4人の台湾スカウトと共に生活をする事になりました。前泊中は、言葉や文化の壁に悩みました。外食や温泉に行きましたが、寿司を食べようと思ったら生ものを食べない、温泉では水着を着る等、私たちには当たり前でもそこには文化の違いがありました。

交流会では、台湾にも連盟歌のようなものがあるのを知り、歌ってもらいました。私たちが活動中に歌う「ユポイヤイヤ エーヤ」や「ピスタ」に似た歌がある事を発見しました。歌詞はほぼ同じでも振りが全く違うと、何か新しい発見をしたように感じました。また、台湾では制服を大切に使うそうです。伸ばしてきれいにたたんでいました。私も見習うべきだなと思いました。

大会期間中は、県外のスカウトと交流し、それぞれが標準語だと思っている方言を使うので、まれに意味が伝わらなかつたり、聞き返されたりしました。

ただし、それが面白くて互いに方言を紹介していました。

言葉の壁は、高くても低くても、国内でも国外でも、工夫をすれば乗り越えられます。将来、世界中を飛び回り、様々な言葉を耳にするのが楽しみです。



磐田地区 掛川第2団ベンチャー隊 **若槻 拓哉**

私がこの3TCで最も印象に残っていることはたくさん他地域のスカウトと交流ができたことです。他県のスカウトや海外のスカウトとはもちろん、少し遠くで活動する同じ県のスカウトとも活動内容や最近はやっていることなど、様々な話ができて、共通の知り合いや趣味などがわかるととても嬉しく、楽しかったです。

また、この3TCで、「スカウトはみな兄弟」ということをとてもよく実感しました。ベンチャーナイトや閉会式等で地域や国の枠組みを超えて、皆が一つになって盛り上がる場に自分も入ることで、「スカウトは国も地域も関係ないんだ!」ということを知れてとても良い経験をしたと思います。

この3TCでできた友達を大切に、得られた経験や知識をこれからの活動に活かして行きたいです。



3TCへ参加して

磐田地区 掛川第2団ベンチャー隊 **岡本 拓己**

ボクが今回初めて3TCに参加して感じたことは2つあります。1つ目は疲労です。今まで5泊6日という長期間のキャンプは初めてで、登山などのアクティビティや初めての環境などで大分疲れました。ただ、温泉に入れたり十分な睡眠が取れたり休憩も多く取ることができたので元気でいられました。2つ目は楽しかったことです。他地域の方と関わることができたり、全体で集まるベンチャーナイトやライブがあったりしてとても楽しかったです。ライブでは全体が一つになって盛り上がっている感じがしてとても楽しかったです。僕自身としては、より協調性をつけることができたと思います。6日間でしたがとても楽しかったです。本当にありがとうございました。



初めての県外遠征

伊豆地区 三島第5団ベンチャー隊 **片山 碧**

第3回ボーイスカウト東海四県連盟合同野営大会(3TC)。自然豊かな高山市にある山麓で行われた5泊6日の大会は、私にとって初めての長期野営でした。会場に足を踏み入れるまでは、期待と不安が入り混じった気持ちでしたが、いざ始まると直ぐに楽しい気持ちに変わりました。草原に椅子を並べて、各自で食事を作りながら談笑したり、場内・場外プログラムに参加したり、他県や他国の団を訪問したりする事は、毎日が刺激の連続でした。期間中、豪雨に見舞われ、テントが水没する等の大変な事もありましたが、私にとっては全てが良い経験になったと思います。特に印象に残っているのは「Venture Night」です。ステージに立ち、初めて大勢の前で歌いました。今思えば、決して上手だったとは言えないですが、それでも盛り上がってくれたスカウトたちや、応援してくれた静岡1隊の仲間たちに、嬉しくて泣きそうになりました。

3TCで出会ったベンチャースカウトのみんな、素晴らしい出会いと体験をありがとう!



3TC台湾派遣団



台湾派遣団引率隊長 **吳如葵** 隊長 **張郁玲** 隊長

3TC参加前には静岡県に立ち寄り、富士山の美しい景色、箱根青少年の家での宿泊体験、7/31の地震体験センター等、どれも素晴らしかったです。台湾のスカウトにとって、日本のスカウトのホストファミリーと出会った日からキャンプが終わるまで、たくさんの良い思い出があり、参加したスカウト全員と引率隊長にとって、温かく心に響く忘れがたい素晴らしい体験でした。スカウトのホストファミリーは、お互いの言語で今回のキャンプや普段の日常生活など交流が出来ました。3TCでは日本スカウトのシステムやキャンプの違いを体験しただけでなく、日本のスカウティングも体験しました。また、静岡と岐阜のスカウトが企画したサイトでの友好活動も楽しい思い出です。お互いの友情が深まるだけでなく、両国のスカウトが多くの美しい思い出を作ることができました。最後に、今回の大会に際し、ご尽力いただきました大山国際委員長、徳澄様、野田様、静岡県連盟の皆さん、3TC主催者、パートナーの皆様へ、言葉では言い表せないほど深く感謝申し上げます。またお会いできるのを楽しみにしています。



日本でのホームステイの心温まる旅と初めての3TCキャンプ体験

〈台湾台中市童軍会派遣団のスカウト〉

- 台中市第119団 台中二中凌鷲鷹旗童軍団 **歐家璋、盛懷宣**
- 台中市第160団 文山北極星童軍団 **鍾佑霖、陳彥文、黃俊憲、陳桂娟、陳凱宥、陳羿臻**
- 台中市第207団 富春翔鷹複式童軍団 **李穎翰、陳昱安、王韻甯**
- 台中市第357団 大甲芋頭複式童軍団 **陳湘庭、卓信彤**

キャンプ前のホームステイは忘れられない思い出です。ホストファミリーとの挨拶やお土産の交換、食事、おしゃべり、言語交換、お風呂に入ったり、キャンプ地への行き方を話し合ったり、すべてが新しい経験でした。3TCでは、流しうめん、アルプスハイキング、温泉体験など、さまざまな興味深いアクティビティがあり、自分の視野を広げるだけでなく、多くの日本人の友達と出会うことができました。また、人の背丈を超える鬱蒼とした草原での開拓キャンプ、限られた状況下で代替手段を探し、日本のスカウトはロープやブルーシートを集め、簡単なテントを設置して問題を解決しました。閉会式パーティーで特別に用意したパフォーマンス「台湾三太子民俗文化」も、全員が雨の中で粘り強さと団結力を見せ、たくさんの温かい拍手をいただきました。

私達がキャンプ地を離れる時に沢山のスカウトや指導者が熱心に手を振って見送ってくれた事に感動しました。私たちは、多くの貴重な思い出ができました。



ボーイスカウト静岡県連盟 国際専門委員 **徳澄 大輔**

台湾国内のジャンボリーから立て続けに来日したリーダーやスカウト達は、疲れた様子も見せることなく関東や静岡県内の観光を経て、静岡市内でホストファミリーに分散した後、3TCに参加するスカウト達と共にそれぞれの方法で、公共交通機関を使って岐阜県高山市に移動しました。3TCでは文化や言葉の違いからギクシャクする場面も少なからずありましたが、そこは同じボーイスカウト同士ということで打ち解けて野営生活を営む様子に目を細めるばかりでした。海外での野営ということもあり、足りない装備に豪雨と厳しい環境もありましたが、スカウト同士の協力でなんとかした経験は、国や文化を越えて忘れがたい体験になったことと思います。台湾日本の友情深まるこのような交流の裏方として現場で貢献出来たことも貴重な経験でした。



第 13 回 日本アグーナリー開催

We Can! ふかめよう友情(ゆうじょう)!
ひろげよう絆(きずな)!

令和6年8月8日(木)~12日(月・祝)



8月8日(木)~12日(月・祝)まで、福島県の猪苗代町にある国立磐梯青少年交流の家で「We Can! ふかめよう友情(ゆうじょう)!ひろげよう絆(きずな)!!」をテーマに第13回日本アグーナリーが開催されました。県内からも3人のスカウトが参加しました。



アグーナリーに行ったよ

静岡地区 静岡第10団カブ隊 **遠藤虎太郎**

ぼくと母は新幹線(こだま号とやまびこ号)とJR線を乗りついで猪苗代まで行き、途中で愛知や大阪から来たスカウトと一緒にになりました。アグーナリーに行って一番思い出に残ったことは、秋篠宮佳子さまとお話が出来たことです。「アグーナリーでのご飯は何が一番おいしかったですか?」と聞かれたので、ぼくが「かつ丼です」と答えたら、にこにこなずいて下さいました。夕食の時も食堂で佳子さまからカレーを受け取って食べました。

場内プログラムでいちばんおもしろかったのは、革ぞいくです。好きな色でチーフリングを作れたので、ぼくは緑色にしました。パソコンで自分の名刺をデザインして、同じ隊の橋本兄弟はもちろん、ほかの県のカブスカウトやベンチャーのお兄さんとも交換できました。4年後ボーイ隊になってアグーナリーに行って、またみんなに会えたらうれしいです。



夕べの集いの司会

清水地区 清水第8団カブ隊 **橋本 直弥**

しかいをたのまれた時、できるかな?と心ばいになりました。ぼくは、字を書いたり読んだりするのがとても苦手だからです。兄といっしょにれんしゅうし、みじかい文はおぼえることができました。すこし長い文やむずかしいことばを読むことはたいへんだったので、タッチペン(吹き込んだ音声を聞く機械)をつかったり、兄にてつだってもらうことで、さいごまでできるようにれんしゅうをがんばりました。ほんばんではかこさまもとてもドキドキしましたが、ローバー隊のおねえさんのサポートもありさいごまでしかいをすることができました。これからも、いろいろなことにちょうせんしたいです。



第13回日本アグーナリー

清水地区 清水第8団カブ隊 **橋本 大暉**

僕は、アグーナリーに参加して、海外のスカウトや障がいのあるスカウトと交流しました。海外のスカウトは、踊りや歌を披露してくれ、お菓子交換もしました。障がいのあるスカウトとは、カレー作りや名刺交換などをしました。アグーナリーでは、いろいろなプログラムがあり、中でも紙コップスピーカー作りや、缶バッチ作りが楽しかったです。名刺交換やプログラムにたくさん参加して、ドリームアワードをもらう事ができ嬉しかったです。

アグーナリーのテーマにもあった「We Can!」(私たちは出来る)をこれからも継続し、いろいろな事に挑戦していきたいです。



第1回 伊豆地区キャンポリー 2024

伊豆地区 函南第1団ボーイ隊 隊長 **川口 利宏**

猛暑・大雨・地震、自然の猛威をある意味で満喫した5泊6日のキャンプが終わりました。

期間を通じて自隊だけでは実現できない冒険的なプログラムを提供できたことは、ひとえに伊豆地区の役員・指導者の尽力の賜であると感謝したいと思います。スカウト達も貴重な体験を通じて、人生の糧の一つを得られたと信じたいし、実際に彼らの生き生きとした姿を見ることができたことは指導者冥利に尽きます。

コロナ禍以降、安全安心を過剰に重視するあまり、チャレンジする機会を少年たちから遠ざけ、却って危機回避の方法を身につけられないのではと常々考えていましたが、伊豆地区の特に若い指導者の皆さんは、安全第一で安心して冒険的で魅力的なプログラムを提供する能力があるということを再認識しましたし、安全に失敗できる環境作りこそが、ボーイスカウトの運動の使命のひとつであると思います。

他団との交流を通して

伊豆地区 三島第3団ボーイ隊 **滝之脇唯人**

今回の「ちくキャン」では、5泊6日という今までで一番長い期間を通して、色々な体験をするのと同時に、色々な改善点が見つかりました。

このキャンプで特に印象に残ったことは、班ごとにサイトの特徴があり、工夫がされているということです。自分の班で今までしてこなかったような工夫をしている班も多くおり、今後班キャンプをやったりしていく上で、どんどん取り入れて、それをもとに、今よりもっと良いキャンプ生活ができるようにしたいと思います。

今後また地区キャンが行われるなら、今回の地区キャンでやったことや、見つかった改善点を生かして、今回のキャンプよりも快適で楽しいキャンプ生活ができるようにしたいです。



日々の改善

伊豆地区 大仁第1団ボーイ隊 **山崎 亘**

ぼくが今回のキャンプを通して思ったことは、日々の改善はすごく大切だということです。

その理由は、日々の改善をすることで作業をスムーズに進めることができます。そして長期野営は、日々の改善のくり返しだと思います。毎日反省をして日々の改善をしていくことでキャンプがよりよくなります。今回のキャンプでは、日々の改善があまりできてなかったと思います。自分たちでもう少し班の時間をとっておけばよかったと思いました。キャンプは楽しいことも多かったです。班員と協力して流しそうめん台をつくったり、川に行くと川にとびこんだりすることが楽しかったです。川くだりは動かなくなったりしてすごく大変だったけど目的地についた時は達成感がありました。5泊6日大変なこともあったけど楽しいこともたくさんあって、いい経験になりました。

全行程 218 km!

8月17日(土)~8月23日(金)の7日間

静岡県徒歩横断プロジェクト

浜松東地区 浜松第30団 ローバー隊 隊長 奈木真由美

この度は静岡県徒歩横断プロジェクトにご協力頂き、本当にありがとうございました。各地区の皆様のご協力無しでは、このプロジェクトを達成することはできなかったと思います。8/17に新所原駅を出発して8/23に熱海駅に到着、総歩行距離218kmで無事に徒歩横断を達成することができました。プロジェクトを振り返ると、まずは静岡県を徒歩で横断しきった達成感、そして自身のスカウト活動が多くの人々の支援によって成り立っているという気付きが得られました。今後もスカウト活動を続けて、後輩の活動を支援できるよう頑張ります。宿泊場所では様々なお話を聞き、楽しい時間を過ごすことができました。また一緒に活動出来たら嬉しいです。

静岡県横断プロジェクト、
旅の道程

第1日 8月17日(土)

スカウト:奥村侑香、土屋斗和
リーダー:奈木、山内、前畑

新所原スタート



湖西市新所原駅
(浜松駅より東海道線で移動7:45到着)
愛知県境まで徒歩移動
8:00出発→新居町関所
→舞阪松並木→東海道移動
→浜松市宿泊先到着17:30 奈木宅



暑さと長さとの温かさ

浜松東地区 浜松第30団 ローバー隊 土屋 斗和

ローバー隊に上進して初めての活動が今回の静岡横断ハイクでした。歩くメンバーはみんな顔なじみで楽しくもなく、寧ろ、より一層仲を深められたように感じました。ただ、全く知らない地域を酷暑の中、何日かにわたって歩くことは初めてでかなり苦しかったです。ハイキングはカブ隊やボーイ隊の活動の中でもかなり好きな方で、苦しさをあまり感じてこなかったのが今回の経験はかなり衝撃的でした。だからこそ、支援してくださった皆様の温かさに何度も救われました。その支援の方法も様々でした。宿泊場所を提供してくださる方、差し入れをしてくださる方、インスタグラムを更新する度に励ましのメッセージやいいねをしてくださる方など浜松から飛び出しても多くの人に支えていただけるこの環境がどれだけありがたいのか実感することが最大の成果物でした。

また、その後開催された日本ローバームート2024においても新たな仲間を作ることができ、11月に行われる100キロハイクにも挑戦してみようと考えています。今回の経験を次に活かし、超えた先の成果物を全力でつかみにいきます。

第2日 8月18日(日)

スカウト:奥村侑香
リーダー:奈木 山内(袋井で合流、掛川駅付近で退席)



浜松市出発 6:00→磐田市見附神社
→袋井どまん茶屋 山内副長合流
→掛川駅付近
→掛川市日坂宿手前宿泊先
法讃寺到着20:30



第3日 8月19日(月)

スカウト:奥村侑香
土屋斗和(藤枝で合流)
リーダー:奈木



掛川法讃寺出発 6:00→日坂峠
→金谷大井川→島田市
→藤枝市 茶屋ななや
スカウト土屋斗和くん合流
→藤枝市宿泊先到着15:25



静岡横断ウォーク、完歩しました!

浜松東地区 浜松第30団 ローバー隊 奥村 侑香

今回の静岡横断企画を提案したのは2月でした。自隊のローバー隊のメンバーは進学や就職で県外に出ている人が多く、長期休みのタイミングでしか対面活動が出来ません。そこで今年の夏休み、地元静岡県で何かプロジェクトをしたいと考えて、この「静岡県徒歩横断プロジェクト」を計画致しました。徒歩横断を選んだのは、時間のある学生のうちしか出来ないこと、達成感の大きなことをしたかったからです。

プロジェクトを行なうにあたって奉仕の視点が足りない指摘され、宿泊先で何か奉仕を行なうことを計画しましたが、実際には到着時間が大幅に遅れたり、疲労だったりで予定通りにはいきませんでした。

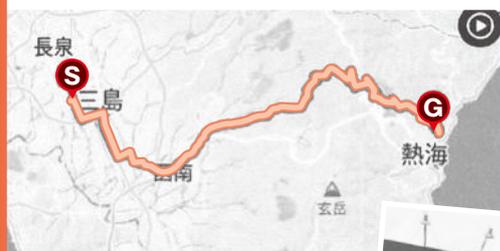
このプロジェクトをやり遂げた後には、静岡県を徒歩で歩き切ったという達成感が一番大きいのと思っておりましたが、このプロジェクトに関わって頂いた関係者やご支援下さいました皆さんへの感謝の気持ちがそれ以上に感じられました。改めて自分のボーイスカウト活動がこれほどまでに多くの人の支えによって成り立っていることが分かりましたので、今後は自分がして頂いたことを後輩に返せるよう頑張っていきたいと思えます。



熱海到着!

第7日 8月23日(金)

スカウト:奥村侑香、土屋斗和、鈴木隆之介
リーダー:奈木



三島市出発5:45→大場
→函南→熱函道路旧道
→十国峠→姫の沢公園
→熱海市宿泊先経由
→熱海駅到着18:10 旅終了!



歩いたからこそわかった人の暖かさ

浜松東地区 浜松30団 ローバー隊 鈴木隆之介

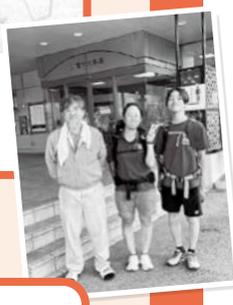
静岡県横断の旅という企画を聞いた時、正直な話「ばかなのか」と正気を疑いました。静岡県は横に広いですし、それを歩きで湖西から熱海に行くというのはとても無謀ではないかと考えていました。私自身、合流したのは6日目からでしたが、隊のインスタグラムで状況は見ていました。そして実際自分で2日間歩いてみて、本当に色々な人に支えられているのだと感じさせられる2日間でした。宿泊先を提供して下さるだけでなく、道中で差し入れを持ってきてくれたり、活動している中で知り合った地域の方々への応援であったり、普段生きている中で、当たり前になってしまっていたことの大切さに気づかせてくれた旅でした。この旅を終えて、ふとこれまでの活動を振り返ってみても、様々な人の助けが裏にあったと感じます。ボーイスカウトに限らずとも、沢山の人に支えられて生きてきたと感じた体験でした。これからは自分もこれまで助けられた時のように、誰かを助けていけるような人になりたいと思いました。

第6日 8月22日(木)

スカウト:奥村侑香、土屋斗和、鈴木隆之介(東田子の浦駅で合流)
リーダー:奈木



富士市出発 5:20
→東田子の浦駅(鈴木隆之介合流)
→千本街道→千本浜公園→三嶋大社
→三島市内到着17:00



第4日 8月20日(火)

スカウト:奥村侑香、土屋斗和
リーダー:奈木



藤枝市出発 5:30→蓮華寺池公園
→岡部宿→宇津谷峠→安倍川
→静岡駅前→東静岡駅
→清水区宿泊先到着19:00

第5日 8月21日(水)

スカウト:奥村侑香、土屋斗和
リーダー:奈木



清水宿泊先尻尻宿出発 5:50
→興津宿→薩埵峠
→由比蒲原→富士川楽座
→富士市宿泊先到着16:30



いかだパイオニアリング (ボーイ隊・ベンチャー隊)

■実施日 / 7月13日(土) ■場所 / 静岡市用宗海岸

いかだ乗船体験会 (ビーバー隊・カブ隊)

■実施日 / 7月20日(土) ■場所 / 静岡市用宗海岸

いかだ作りとパイオニアリング

静岡地区 寺田万友

地区のベンチャーとボーイは、用宗海岸で大型の筏を作りました。この日、静岡市が全国一位の気温を記録する中、約15人のスカウトが集まり、作業しました。

工作するのは7月と決めて、ベンチャーは春からパイオニアリングの計画に着手し、浮力を計算してフロートの必要容積を考えたり、図面と模型を作ったり、慣れないことに四苦八苦しながら作業を進めてきました。

そして、工作とは別の日に、地区のビーバーやカブが集まり、作った筏に乗りました。波打ち際で乗り込むところからおっかなびっくりでしたが、すぐに歓声をあげて楽しんでいました。



パイオニアリングの製作

静岡地区 静岡第14団 ベンチャー隊 小森珠未

今回のパイオニアリングは今までの活動以上にチームワークが必要とされるものでした。ベンチャースカウト同士だけでなく、地区としての活動だったのでボーイ隊にも手伝ってもらいました。計画段階はベンチャースカウトのみでしたが、実行段階でボーイ隊に指示を出したり、ロープワークの指導をしたりと普段のベンチャー活動より大変な部分が多かったです。ですが、筏が完成した時や、カブ隊やビーバー隊が嬉しそうに乗ってくれたのを見た時に、達成感が湧いてきました。

実際に自分でも乗って見ましたが、強度もあって納得のいく結果を得ることができました。今回のパイオニアリングは1人では決して成し遂げられなかったことだと思います。これからも仲間とのチームワークを大切に、スカウトスキルを高めていきたいです。



たのしかったいかだのり

静岡地区 静岡第14団 ビーバー隊 なかのまさや

きょう、ベンチャーたいとボーイたいが作ったいかだにはじめてのりしました。

いかだがななめっていて、少しこわかったけど、みんなできょうりょくしてこいたり、おしてもらってけっこうとおくまで行けたり、海にはいれたりして、とてもたのしかったです。いかだに二回もれたけど、まだまだのりたかったです。こんどは、自分が大きくなったらいかだを作りたいです。





宇宙飛行士の訓練、360°に高速回転して無重力を体験しました



ロケット模型を火薬で飛ばし、パラシュートで降下! チーム毎に分かれてオペレーションを実行します

米国ロケットセンター「スペースキャンプ」に参加しました

7月6日から12日まで、米アラバマ州の米国ロケットセンターで開かれた体験学習プログラム「スペースキャンプ」に藤枝2回ボーイ隊の杉井進次郎さんが参加して参りました。

志太地区 藤枝第2回 ボーイ隊 杉井進次郎



今回のスペースキャンプでは様々なことを学び、楽しみました。博物館では宇宙開発の歴史やロケットなどの展示が沢山ありました。エンジンや機械を見ていると、これが宇宙に行ったのかと人類のすごさを感じました。宇宙飛行士訓練体験は臨場感がありとても楽しかったです。本当に自分がロケットを操縦しているかのように本部と無線で会話しかっこ良かったです。マニュアルを理解するのも多少苦労がありましたが、チームメイトが教えてくれました。また、立体的に回転して地球への再突入をシュミレーションした360°チェアでは不思議な感覚になりました。気持ち悪くはならなかったですが、上下左右分からなくなり視界がぼやけました。月の重力を模した1/6重力チェアはこれまで感じたことのない不思議な感覚になりました。スペースキャンプをとおしてスペースキャンプに参加する前に考えていた以上に楽しく色々なことを学べたと思います。将来の視野が広がり、自信ができました。将来の夢は現在明確に決まてないですが、やりたいことを全力でやりたいです。



NASAが実際のようにしてロケットを発射するのかを体験しました。

元宇宙飛行士による講義・質疑応答

アカデミーの卒業式



令和6年9月26日(木) 静岡新聞 掲載



Space Campの体験レポート... 藤枝の中学生ら 米での体験報告... 宇宙の魅力将来伝えたい... 藤枝の中学生ら 米での体験報告... 宇宙の魅力将来伝えたい... 藤枝の中学生ら 米での体験報告... 宇宙の魅力将来伝えたい...



いつも元気だっ! ビーバーだより

ぼ金活どうで木をふやす

富士宮地区 富士宮第22回 ビーバー隊 富岡 俊貴

ぼくはビーバースカウトでぼ金活どうが一ばんすきです。たくさんの方が山や森やみどりについて考えてくれたり、知ってくれることがうれしいからです。



ぼくもスカウトに入るまでは(お兄ちゃんは何でお金をあつめているのかな?)とっていました。この前のぼ金活どうの前にたい長が「このごろの大雨のニュースが多いよね。その雨が山にふって土とっしょにながれて山の下にすんでいる人たちに大きなひがいがおこってしまいます。そこで広ようじゅというおちばをたくさんおとしてくれる木をうえてそのはっぱがスポンジのように水分をすってくれるから土のなかに水分を入れないで地すべりを防ぐことができるといわれています。その木をふやすお金をあつめるんです。」と、おしえてくれました。どしゃくずれはとてもこわいです。だからぼくは木をたくさんうえてみんなにあんしんしてほしいです。



カブつうしん CUB SCOUT

ボンファイヤーの思い出

富士地区 富士第11回 カブ隊 遠藤 陽斗

ぼくは夏季舎営の中で最も心に残ったのはボンファイヤーです。本番の前に仲間とスタンツの練習をしてきました。おどりのふりつけも考えを出し合いました。本番では、ぼくらの出番が一番最初で、きんちょうしました。でも、大きな声で気持ちをこめて歌ったら拍手をもらい、きんちょうがほぐれました。団のみんなとゲームをしたり、歌ったりできて楽しかったです。真っ暗な中でみんなと火を囲んで過ごすことで心も温かくなりました。



仲間たちとのスイカ割り

富士地区 富士第11回 カブ隊 遠藤 健斗

この夏の夏季舎営でスイカ割りをしました。目かくしをしてドキドキしながら、スイカを探しました。えいや!と棒でたたくとうまく命中しました。みんなで食べたスイカは甘くておいしかったです。ボーイの先ばい達とかたづけをした時、ご



みのまとめ方を教えてくれたり、足元の段差に気を付けるよう言ってくれたりして、やさしいなと思いました。ぼくも先ばいたちのようにやさしく気配りののできるスカウトになりたいです。

暑かったけれど楽しかったカトリックキャンプ

浜松地区 浜松第14回 カブ隊 深津 和寿

実は僕は、キャンプの事をめんどくさそうだと思ひ、行きたくないなあと感じていました。でも、行ってみたら、海ほたる観察や、勾玉づくり、他団との交流ブースなど、楽しいことがたくさんありました。

特に頑張ったことは、勾玉の石を削ることです。

最初は、棒ヤスリで削っていて、ほとんど削れなかったけれど、ボーイ隊の人たちが、「荒い紙やすりで削るとやりやすいよ」と、教えてくれたので、その通りにしてみたら、すごくきれいに作れました。暑くて大変だったけれど、楽しかったです。



淡路島でのカトリックジャンボリー

浜松地区 浜松第14回 カブ隊 安間 寛汰

8月10日から14日まで兵庫県の淡路島にてカトリックジャンボリーに参加しました。そこで一番記憶に残っていることは、阿万海水浴場で遊んだことです。

もしもおぼれた時のために、ライフジャケットを着て上を向いて浮かぶ練習をしました。

また助けを呼ぶために笛を



吹くことを隊長が教えてくれました。海はひんやりして、まるでかき氷を食べたように感じました。



スーパーカブになったときの私と今の私

伊豆地区 三島第5団 ボーイ隊 齊藤 鈴奈

私は、スーパーカブになるために「諦めない」をキーワードに頑張ってきました。なぜなら、諦めたら次のステップに進めないからです。私は、ずっとこのキーワードを頭に入れてチャレンジ章に取り組んできました。そのおかげでスーパーカブを取得することができました。そして、私はボーイ隊になり、一年間で二級を取得し、今は一級の課題に挑戦しています。また音楽章を取得できるように努力しています。課目を進めるにあたって今でも、「諦めない」というキーワードを意識して取り組んでいます。やはり、「諦めない」という言葉は支えになります。

応援してくれたお母さん、お父さん、ありがとう!



はじめてボーイ隊のキャンプに行きました。

磐田地区 磐田第6団 ボーイ隊 井口 綴

ぼくは、6年生になったので初めてボーイ隊のキャンプに行きました。

カブスカウトの時のキャンプと違うところがいくつかありました。まず、自分で寝るA型テントを仲間といっしょに建てたことです。カブ隊の時は小さなテントで一人で寝たけど、ボーイ隊では友達と一緒にだったので、夜が楽しかったです。

また、立ちかまどを木と竹で組み立てて自分たちでご飯を3食作ることもカブ隊とは違いました。1日目の夜に頭が痛くなって帰宅したけど、家で休んだら治ったので、2日目の午後は川で水遊びをしました。暑かったのでとても気持ちよかったです。3日目の午後はハイキングに行きました。途中でキャンプ地の近くの「しばちゃん牧場」に寄ってアイスを食べました。疲れていたのに冷たくて美味しかったです。夜のキャンプファイアでは、ビーバー隊とカブ隊の前で「アンノンスカウト」のスタンツをしました。また全員での「かえるの歌」の輪唱で盛り上がりました。夜もテン

トの中が暑くてなかなか眠れなかったのと、朝起きるのが早くて、朝からご飯を作るのがとても面倒くさかったです。

大変なことも色々あったけど、ボーイ隊のみんなとたくさんしゃべることができて楽しかったです。



8月の活動

清水地区 清水第7団 団委員 長崎 静香

清水7団の8月は、ベンチャー隊の「リレー式日本一周徒歩旅行」から始まります。今年のスタートは愛知県清須駅。気温39度の過酷な中、スカウトと隊長は歩き出します。岐阜県大垣のビジネスホテルに宿をとり、2日目は養老鉄道駒野駅を目指します。団委員長も応援に駆けつけました。後半はスカウトが一人で挑戦したいと希望し見守りました。最終日、ゴールの関ヶ原駅に到着したスカウトは一段と日焼けして満足そう。本人の自信になったことでしょう。



続いて「合同夏期(季)

キャンプ」を富士宮の上井出青少年の家を拠点に行いました。1日目、ビーバー隊はスカウトの希望でペットボトルを使った自作の虫取り道具を仕掛けました。テントサイトの草むらは虫の取り放題です。捕まえたトカゲが家で卵を産んだそうです!今回ボーイ隊は“苦手な事にも挑戦しよう”と各自で一から飯盒炊飯。上手く炊けても、焦げても自分のやった事。次に生(活)かせると良いですね。3



日目は朝霧で酪農体験。乳搾りと餌やりで牛とふれあい、機械での搾乳の様子を見学すると興味津々。牛を通して“命をいただく”ということを教わり、これからのいろんな体験をさせてあげたいと思いました。

按針祭式典 奉仕 伊豆地区



8月10日箱根の里で実施中の地区キャンボリーの合間を縫って、伊東市の観光会館で催行された按針祭式典の奉仕に参加しました。炎天下の按針メモリアルパークでは献花セレモニーの国旗手を務め、こちらも又炎天下の式典会場前のエントランスで待つ按針旗の列を通して、来賓の先導を務めました。会場内では、日本、英

国、オランダ、メキシコの各国国歌の演奏に合わせ国旗に敬礼と凛々しい姿をアピールできました。閉会時には、各国国旗を先導に来賓の退出を誘導しました。夕刻には又キャンプ場に戻り5泊6日の野営を継続です。お疲れ様でした。

伊豆地区 伊東第5団 団委員長 渡辺吉郎



各章に向かって、がんばろう!! 受章者を紹介致します!

ボーイスカウトの進歩制度とは、スカウトの成長の目標となる課目を設定し、進級というステップで、スカウトが発達段階に応じて成長できるようにした制度です。ボーイスカウト隊に入隊するとまず初級スカウト章を取得して段階的に進級を進めます。

●1級スカウト章は高度なスカウト技能や、宿泊を伴うプロジェクト運営、地域への貢献や後輩への指導ができます。

地区名	団名	隊	氏名	進級年月日	地区名	団名	隊	氏名	進級年月日
志太	焼津第5団	ボーイ隊	青地 秀汰	2024年8月18日	浜松	浜松第12団	ボーイ隊	梶村 琉莉	2024年5月15日
志太	藤枝第7団	ボーイ隊	手島 実咲	2024年5月4日	浜松	浜松第14団	バンチャー隊	堀 傑	2024年4月14日

●菊スカウト章は高度なスカウト技能の他、ボーイスカウト隊の中の活動で、ボランティア活動や野外活動での更なるスキルが認められたスカウトです。

地区名	団名	隊	氏名	進級年月日	地区名	団名	隊	氏名	進級年月日
浜松	浜松第12団	バンチャー隊	園部 桃子	2024年7月12日	浜松	浜松第12団	バンチャー隊	山田 惇介	2024年8月22日
浜松	浜松第12団	バンチャー隊	島崎 太輔	2024年8月22日					

●隼スカウト章はスカウト技能を十分に役立てることができ、ジュニアリーダーとしての基本的な隊運営の知識を有し、健全な体と精神を身につけたスカウトです。

地区名	団名	隊	氏名	進級年月日	地区名	団名	隊	氏名	進級年月日
静岡	静岡第26団	バンチャー隊	鈴内 彩花	2024年7月18日	志太	藤枝第7団	バンチャー隊	鈴木 喜生	2024年7月27日
志太	藤枝第7団	バンチャー隊	八木 佐和	2024年7月20日	志太	藤枝第7団	バンチャー隊	海老名 翼	2024年7月27日
志太	藤枝第7団	バンチャー隊	大須賀 泰	2024年7月27日	浜松東	浜松第24団	バンチャー隊	長江 晴史	2024年8月31日
志太	藤枝第7団	バンチャー隊	待井 直哉	2024年7月27日	浜松東	浜松第30団	バンチャー隊	菅谷 淳尋	2024年8月31日



おめでとう!!33名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

令和6年10月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・地域連携委員会

氏名	地区	所属	氏名	地区	所属
大塚 惟吹	静岡	静岡第14団 カブ隊	渡邊 晃多	富士	富士第8団 ボーイ隊
数野 央宇介	静岡	静岡第14団 ビーバー隊	栗林 裕次郎	富士	富士第8団 カブ隊
大畑 香晴	志太	藤枝第2団 カブ隊	石黒 真之	富士	富士第8団 カブ隊
大久保 大雅	志太	藤枝第2団 カブ隊	杉本 律	富士	富士第8団 カブ隊
山本 謙	志太	藤枝第2団 カブ隊	加藤 廉凰	富士宮	富士宮第5団 ビーバー隊
山本 駿	志太	藤枝第2団 ビーバー隊	杉井 世那	富士宮	富士宮第5団 ビーバー隊
潮田 陽紀	志太	藤枝第2団 ビーバー隊	塚本 義之	富士宮	富士宮第5団 ビーバー隊
矢野 ころ	志太	藤枝第2団 ビーバー隊	長倉 千紘	静岡	静岡第22団 ビーバー隊
酒井 汐梨	伊豆	三島第5団 ボーイ隊	金井 晴充	静岡	静岡第27団 カブ隊
牧田 美和	伊豆	大仁第1団 カブ隊	齊藤 羽那	静岡	静岡第27団 カブ隊
小見 友真	伊豆	大仁第1団 ビーバー隊	川瀬 涼	浜松	浜松第14団 カブ隊
酒井 大和	伊豆	大仁第1団 ビーバー隊	岩本 実咲希	浜松東	浜松第6団 ビーバー隊
梅原 逞大	伊豆	大仁第1団 ビーバー隊	矢野 雅也	浜松東	浜松第6団 ビーバー隊
藤原 蒼	伊豆	大仁第1団 ビーバー隊	河合 優輝	浜松東	浜松第30団 バンチャー隊
水野 颯介	伊豆	大仁第1団 ビーバー隊	安藤 さつき	浜松東	浜松第30団 カブ隊
野田 顕生	伊豆	大仁第1団 ビーバー隊	菊川 桔子	浜松東	浜松第30団 カブ隊
松本 煌平	伊豆	大仁第1団 ビーバー隊			

アマチュア無線免許 取得しました!



昨年のJOTA/JOTIの県連会場で、アマチュア無線の交信体験をした静岡第22団のカブスカウト(当時)3名が、本年4月に浜松で開催された『アマチュア無線士養成課程講習会(第四級標準コース)』を受講し、この7月に無線従事者免許証が交付されました。左から齊藤翼(カブ)、常盤大智(ボーイ)、常盤有太(カブ)。3名を代表してこの春ボーイ隊に上進した常盤大智君がコメントを寄せてくれました。

静岡地区 静岡第22団 ボーイ隊 常盤大智
仲間がいたから楽しくチャレンジできました!!次は、JOTA-JOTI 2024で他団のスカウトや世界と交信すること、アマチュア無線3級取得が目標です。

ボーイスカウト運動にご支援くださった皆様です。令和6年7月~8月

- | | | | | | |
|------------|--------|-------|-------|-------------|-------------|
| 【日本連盟維持会員】 | 大川 靖夫 | 土山 惟之 | 富山 貞男 | 金 森 啓二 | 【静岡県連盟賛助会員】 |
| 大須賀和美 | 高橋 謙一 | 西村 清矢 | 館 正 | 上 條 猛 | 丸山 浩孝 |
| 山城 厚生 | 渡辺 周 | 深津 智重 | 大石 稔 | 村 松 清一 | 〈以上敬称略〉 |
| 土山 和雅 | 杉山 盛雄 | 勝又 啓子 | 山崎 茂樹 | 渡 辺 聡 | |
| 杉山 栄 | 杉本 忠重 | 鈴木 孝治 | 堀内 正治 | BS浜松東地区委員会 | |
| | 富田 三代治 | 鈴木 隆春 | 大 澤 晶 | B S 静 岡 地 区 | |



マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。

各地区・団で、新聞又は雑誌などに掲載された記事がありましたらご応募下さい。詳しくは県連事務局まで

令和6年6月26日(水) 富士ニュース 掲載



令和6年8月28日(水) 伊豆日日新聞 掲載



令和6年8月28日(水) 熱海新聞 掲載



令和6年8月9日(金) 静岡新聞 掲載

令和6年6月30日(日) 静岡新聞 掲載 (杉井進次郎さんは 藤枝第2団 ボーイ隊 隊員です)



令和6年8月17日(土)静岡新聞 掲載

おしらせコーナー

令和6年度 第2回 県連盟トレーニングチーム 研究集会

- 日 時: 令和6年11月9日(土)・10日(日)
- 場 所: MOA大仁研修センター
- 申込み: 令和6年10月26日(土)まで
県連事務局 必着

《ボーイスカウト講習会》 第646回 浜松東地区

- 日 時: 令和6年11月17日(日)
- 場 所: 浜松市青少年の家
- 申込み: 令和6年11月2日(土)まで

※開催案内あります。
QRコード又は浜松東地区に
申込みをお願いします。



安全促進フォーラム

- 日 時: 令和6年11月17日(日)
- 場 所: 静岡青少年会館
- 申込み: 令和6年11月1日(金)まで

※開催案内あります。
QRコードから申込みを
お願いします。



野営法研究会 太田山

- 日 時: 令和6年11月23日(土)・24日(日)
- 場 所: 太田山野営場
- 申込み: 令和6年11月2日(土)まで

※開催案内あります。
QRコードから申込みを
お願いします。



ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局 (☎054-255-6185) まで
ホームページもご覧ください。 <http://bs-shizuoka.com>

編 集 日 記

この夏は「3TCベンチャー大会」「日本アグーナリー」ほか、各地区・団・隊による野営訓練などアクティブな活動が行なわれました。「たちばな」では皆様からの取材依頼をお待ちしております。今後ご意見・掲載希望情報など県連事務所までお寄せ下さいますようお願い致します。

広報「たちばな」編集部 杉山文朗

広 報 “たちばな” 2024年10月
発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1
県青少年会館内
TEL & FAX 054-255-6185
<http://bs-shizuoka.com>
編集責任者 総務・広報委員長 南條 順子
印 刷 三富印刷株式会社
静岡県浜松市中央区上新屋町 30-1 TEL053-467-4678
発行部数 2,800部